

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県藤沢警察署協議会
日時	令和5年10月26日（木）午後2時から午後4時10分までの間
場所	神奈川県藤沢警察署
出席者	<p>1 協議会側  飯田 高史 市川 洋 亀井勝一郎 前原 篤 糟谷元二郎 川邊みどり  橋本美知子 臼井 得雄 増田隆一郎 浅場 真澄 村木 光喜 吉田 勝好 計12人</p> <p>2 警察署側  警察署長 阿部 勇 副署長 山口 浩二 地域担当次長 河野 隆史 刑事担当次長兼生活安全担当次長 市川 哲也 会計担当次長 内海 洋将 警務課長 苅部 信行 交通課長 小野 元貴 刑事第一課長 飯山 哲男 生活安全課長 橋本 崇 刑事第二課長 伊藤 香織 警備課長 田中 英之 留置管理課長 中山 武志 計12人</p>
議事要旨	<p>警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>1 諮問  巡回連絡の周知について</p> <p>2 答申  (1) 巡回連絡カードの重要性を市民に説明し、理解を得る。  (2) 広報媒体等を活用して巡回連絡について説明し、訪問を予告する。  (3) 各種団体等の会合に参加し、巡回連絡について周知する。  (4) 集合住宅については管理会社、管理人の協力を求める。  (5) 小学生に警察の活動としての巡回連絡を分かりやすく説明し、子供から親へ重要なものであることを伝えさせる様々な媒体を使用しての広報啓発活動</p> <p>3 措置結果  (1) 広報紙などを活用した周知活動  ・ 交番、駐在所だよりを活用した広報活動を実施した。  ・ 市民センターへの掲示や集合住宅の掲示板への掲示、各町内会の回覧板への差込みなどを依頼した。  (2) 各種団体等の総会に参加  ・ 各種団体等の総会に参加し、情報共有、意見交換、巡回連絡などの説明を行った。  ・ 各種イベントに参加し、巡回連絡広報用ビラの配布を実施した。  (3) 広報媒体の活用  藤沢市を中心に放送を行っているラジオ局「FM湘南」で、毎週月曜日午前中に放送されている「ポリスイنفォメーション」のコーナーに、9月18日に当署地域課員が出演し、巡回連絡についての説明と協力依頼を行った。  (4) 学校などにおける巡回連絡についての説明  社会科の授業の一環として講師の依頼（出前授業）があり、学校に訪問した際に、警察官の行う活動の中で、おうち訪問として巡回連絡の説明を小学生などに行い周知に努める活動を行った。</p> <p>諮問</p> <p>若者に蔓延する大麻事案について</p>

### 答申

- 若年層が通う中学校、高校等への出張授業で、吸うこと事態が害であること及び違法であることを教育徹底し、身体への有害性を小さい頃から教育していく。  
また、学校からではなく、警察が学校に出向き啓発・啓蒙活動を行うべきである。
- 大麻や薬物を使用した場合の身体への影響をインパクトのある映像などで目に訴えかけ、1度の吸引で自分の人生が台無しになること、将来のことをよく考えさせる。
- ポスターなどを作成、掲示し啓蒙・啓発活動を行う。
- 大麻は、手軽に買え使用でき、若者でも手が出せてしまうので、家庭、学校、地域、警察、医療が総合的に連携をとって、愛情がある対応が必要である。
- 薬物はグループでやる事が多く、断りずらい面がある。仲間がやっても警察に言えない。本人の事、友人を助けるという気持ちが大事であり、止めるように説得し、それでも聞かないようであれば警察への通報（相談）が出来るようにする。

### 協議会からの要望・意見等

- 若年層の犯罪を止める側の人間として、大麻について、使用した場合の影響、若者の入手経路や使用場所等が分からないので、協議会委員に対する勉強の場を設けてほしい。
- 大麻について、罪は罪としての厳罰化してほしい。
- インターネット上で大麻の売買いが出来ないようにしてほしい。

### 業務説明

前四半期（6月から9月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和5年10月から12月まで）の業務推進重点について事前に協議会委員へ資料を配布して、説明をした。